

科目名		建築設計実習			
担当教員	森嶋 則之		実務授業の有無	○	
対象学科	建築デザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である設計の知識・技術を、学び、2級建築士に必要な、エスキスと製図などを作成するグループ実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. エスキスや製図の基礎を中心に、見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した図面設計の進め方の基本を理解する。 4. 指定課題を設定された時間内に完成させる				
学習目標 (到達目標)	2年次後期「建築設計実習」は、1年次の設計の基礎知識を基に、建築士受験・実務に対応出来る特殊建築物(RC、集合住宅)の基本設計の習得を目的とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①書名：建築設計製図(1・2年次教科書) ②補助教材：自作、RC造設計図面・練習用テキストを使用				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期「オリジナルプラン」による、設計の開始 ①配置図兼1階平面図の作成 ②上階平面図の作成 ・配置図、平面図の基本設計・製図の基本の確認		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～②の項目を理解し適正に指定時間内に作成できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
2	立面図・断面図の作成 ①立面図・断面図の基本設計 ②製図の基本を確認・指導		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～②の項目を理解し適正に指定時間内に作成できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
3	平面詳細図の作成 ①平面詳細図の基本設計 ②製図の基本を確認・指導		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。課題提出後フィードバック ①～②の項目を理解し適正に指定時間内に作成できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
4	設計実習のまとめ、提出。 ①課題等の最終確認。		課題等の最終確認。 (後日、添削による訂正個所の指示・確認。)		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
主に、提出課題の評価点の合計(平均)とする。(期限内の提出)評価の基準点は、別紙(自作)評価基準リストによる。 提出課題95% 出席率(皆勤)5%、 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての建築物を設計する上でイメージの表現の基本となるエスキスの方法を学ぶ授業。設計条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことでつてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個別指導も行う。		
実務経験教員の経歴					
建築設計事務所勤務、公共建築等の設計・監理業務28年間					

科目名		建築設計実習			
担当教員	羽生 道夫		実務授業の有無	○	
対象学科	建築デザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	座学建築計画Ⅰ・Ⅱで理解した建築計画の、考え方、進め方を演習を通し実際の保育園建築設計の手法を学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもつた設計の考え方の重要性を再認識する。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 説明→課題演習→チェック解説を繰り返すことでスキルを習得する。 4. 最終的には保育園のオリジナルプランを作成する。				
学習目標 (到達目標)	正確・丁寧な見やすい図面を書ける事を目指す。 園の計画では使いやすい健康的な建築をめざしそれを図面に的確に表現できる事を目標とする。				保育
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	保育園の計画 ①建築計画を資料を参考に計画		方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①の項目を理解できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
2	保育園の立面を計画します。 ①平面を基に立面を計画 ②断面をイメージし屋根伏せ図もフリーハンドで計画		方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 ①～②の項目を理解できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
3	保育園の断面を計画		方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に1年次履修した内容の理解度も確認する。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
4	計画を基に、ケント紙に鉛筆で清書します。		方法：プリント等の教材を使って課題の趣旨を説明、同時に完成度の確認 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題の点数に加え、通常の授業態度などを加味して総合的に判断します。 完成図の提出40% 出席状況10%、授業態度10%、計画・図面表現40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			1年次の基本製図・設計を基に、非住宅建築物(保育園)を設計します。建築士試験に対応できる知識と技術を身につけるため。基本を固め、演習を繰り返すことでつてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。		
実務経験教員の経歴					
建築設計技師として設計事務所において40年間携わっている					